

ぶらっと山歩（さんぽ）
（中止！中止！・・・は、山歩のチャンス到来だ！！）

文と写真：吉野会長

4月25日、兵庫を含む4都府県が対象となって発令された3回目の緊急事態宣言は、連休明けの6日に解除！・・・との甘い夢は掻き消され、急激な変異ウイルスの感染拡大により5月31日までの期限延長が早々と決まった。ところが3週間を過ぎる頃に来て、医療体制の崩壊状態を鑑み、再々延長（6月20日まで）が発令される事態となってしまった。そんなこんなで、兵岳連が現在唯一お付き合いをしているS観光バス会社の登山シリーズ企画が、ことごとく中止や延期となり、山案内役をさせて頂いている小生のスケジュールも、訳が分からない状態となっていた。考えればこんな時こそぶらっとさんぽ（山歩）のチャンス！である。

4月30日（月）比良・堂満岳へ

前日の29日（祝）、40名余りの予約があった堂満岳行登山ツアーが早々と中止となり、その翌日、急遽行くチャンスが到来した。



オオイワカガミ（比良/青ガレにて）



イワウチワ（堂満岳/東稜にて）



比良のシャクナゲ（堂満岳にて）

シャクナゲは少し早いかな？と心配していたが、開花して間もないも花が結構あり、蕾も多く満足のいく比良山詣りでであった。堂満岳は我々2人パーティ以外、下るまで逢わず。

5月14日（金）滋賀・霊仙山へ

ヤマシャクヤクご存知ですか？と問われて、これだけ山歩きしているのに？？どんな花やったんやろ？？・・・よくわからんまま、女性お二人のお供に加えて頂き、霊仙山へ。



霊仙山山頂・1,084Mにて



ヤマシャクヤク（志賀/霊仙山・西南稜尾根にて）



クリンソウ（志賀/壺仙山・今畑にて）

山行の詳細は、一王山支部だよりに S さんがお書き下さっているのでご覧下さい。

5月16日（日）県境尾根・駒の尾山へ

同日、駒の尾山登山ツアー40名余りのガイドをする予定であったが S 社より**中止**の連絡が入った。前回案内時は岡山県側から登るコースを案内し後山（1344.5M）に立ったが、今回は我々4人だけなので、案内役の私の拘りで兵庫県のちぐさ高原側から入り、大海里峠へ出て大海里山・1206Mを往復後。県境尾根上にある駒の尾山・1280M～鍋ヶ谷山1253M～船木山・1334Mを踏破し林道へ一気に下るという結構ハードな行程を歩いた



清々しい登り始めのルート



加藤文太郎も立った大海里山の山頂にて

兵岳連が選定した「ふるさと兵庫 100 山」には選定時の準アドバイザーとして参加させて頂いた関係上こだわりはあくまで兵庫県側登山道からの入山・下山である。したがって、ちぐさ高原からスタートしたという次第だ。



兵庫と岡山の県境線上の山/駒の尾山・1280.5M

宍粟市が主な登山口となる 100 山には、標高第 2 位の三室山・1358.0M、第 3 位の後山（1344.6M/板馬見山・いたばみやま）を始めとし、植松山・1191.1M、千町ヶ峰・1141.3M、三久安山・さんきゅうあんざん 1123.2M、一山・ひとつつやま 1064.4M、日名倉山・1047.4M、笠杉山・1032.1M、黒尾山・1024.7M、東山・1015.9M、空山・900.9M、長水山・ちようずいさん 584.4M と、実に 12 山を選んでいる。森林王国・宍粟市は、まさに山よし・水よし・空気よし！ 加えて食よし！の大好きな山域である。

（今回歩いた山々は、兵庫・鳥取・岡山の三県にまたがる広大な「氷ノ山後山那岐山国定公園」の一角であり、兵庫を含む中国山地も魅力のある山域だ。）



雪の氷ノ山

氷ノ山後山那岐山
国定公園の山域



5月26日(水) 千ヶ峰の麓・棚田散策へ

5月24日付神戸新聞夕刊に、「石垣連なる300枚の棚田」のタイトルで～前田 尋氏作 切り絵探訪～の切り絵が掲載されていたのをご覧になられた方も多かったのでは?・・・その切り絵の奥に顔を覗かせている山を全体の風景から見て、笠形山(播州富士)では?と瞬時に思い解說到目を転じた。



5月24日付神戸新聞夕刊の記事

多可郡多可町加美区岩座神(いさりがみ)地区 千ヶ峰の麓とあった。千ヶ峰への登山は大概が市原峠コースか門村からの三谷コースを執るが、一度、三谷コースを下る途中から加美区へ降りたことがあったと記憶していた。しかし、棚田などに興味は無く、あったかどうか、この切り絵を目にするまで思い起こさなかったが何だか急に訪ねてみたくなり、4月に霊仙山へ行けなくなったNさんをお誘いし、急遽、足(車)の確保に無理を言ったU・Nさんの3人で訪ねることにした。



棚田はみごとな石垣に積み上げられていた石垣に積み上げられた棚田は300枚(田)以上、約700年の歴史を経てきており、日本の棚田

百選に名を連ねているとのことであった。(因みに兵庫県からは佐用町/乙大木谷、香美町(美方町)/うへ山、香美町(村岡町)/西ヶ岡、それにここ岩座神の4か所の棚田が選ばれているとのことである。



田植えが住んだ間のない棚田や、これから植える棚田もあり、見る場所を変えることによって、切り絵の風景に溶け込んでいった。・・・



切り絵は無理なので、スケッチでも・・・保育園児の棚田散策がなんとも微笑ましい!

スイカズラ



ユキノシタ



